



野木小学校だより

野ぎくの子

校長室から 2022/11/21

2022年度 学校教育目標

「自ら問い 自ら考え 自ら行動する」

【めざす児童像】

よく考える人・自分や人を大切にする人・チャレンジする人



学校のホームページをリニューアルしました

<https://edu.town.wakasa.fukui.jp/nogi/>

「野木小」で検索してください。(栃木県の野木小とお間違えないように)

写真が3枚自動的に切り替わります。時々更新します。

お知らせを掲載します。

子供たちの元気な歌声やプロ歌手の独唱による校歌が聴けます。

同窓会の承認を得て、過去の同窓会報を閲覧できるようになります。(工事中)

今年度分の学校だよりがご覧になります。

スマホ、タブレットからは、こちらでご覧になります。

学校プランや年間行事予定など、基本的な資料です。

日々の学校生活の様子は、こちらのFacebookをご覧ください。

レールにエール!

1学期に北陸新幹線出前授業を行ったときに、全校児童で新幹線の工事関係者の方々への応援メッセージを収録しました。その様子が福井県からYouTubeに公開されています。動画の中ほど、他校に交じってわずか10秒間ほどですが…。

右のQRコードを読み取るか、検索サイトやYouTubeの検索窓に「レールにエール7」と入力すると接続できます。



～12月のおもな行事予定～

- 12月 2日(金) 人権講演会(5限) 13:25～14:00
講師: 飯めしあがれこにお氏(福井県住みます芸人、若狭町応援芸人、吉本興業所属)
笑いを交えて人権に関するお話をさせていただきます。よろしかったらお越しください。
- 12月 3日(土) 県PTA連合会研究大会(県生活学習館) ※倉谷会長・岡本副会長・藤本教頭が参加
- 12月 5日(月) 学校訪問コンサート(午後)
今川裕代ピアノコンサート&ピアノ解体ショー よろしかったらお越しください
- 12月 6日(火) 県学力調査(5年 国・算) 町学力調査(1・5年以外 国・算)
- 12月 7日(水) 県学力調査(5年 社・理)
- 12月11日(日) 4年親子行事(体育館)
- 12月16日(金) 教育懇談会 13:30一斉下校
- 12月22日(木) 給食最終日 集落児童会 大掃除
- 12月23日(金) 終業式 11:30一斉下校
- 12月24日(土) ～1月9日(月) 冬休み



10月27日にはパレア若狭で若狭町小中学校の音楽会が行われました。野木小学校からは5・6年生が出演し、堂々と立派に「ツバメ」の曲を演奏しました。また、他の学校の素晴らしい合唱や合奏を聴いて楽しい時間を過ごすことができました。やはり音楽はいいものですね。

さて、今日は私の好きな曲を聴いてもらおうと思います。

「フィンランディア」という曲です。ヨーロッパにフィンランドという国があります。日本から九州を除いたくらいの広さの国で、森や湖の自然がとても美しい国です。実はサンタクロースが住んでいる家もあるんですよ。このフィンランドは、今から100年ほど前にはとなりの大国ロシアに支配され、人々はフィンランド語を禁止されるなど、とても苦しい暮らしをさせられていました。しかし、フィンランドの人たちはロシアに勇敢に立ち向かい、とうとう独立することができました。今から聴く「フィンランディア」は、フィンランドのシベリウスという作曲家が作りました。シベリウスは自分の生まれ育った国であるフィンランドをとっても愛していました。シベリウスが、ロシアに支配されて苦しんでいたフィンランドの人々を勇気づけようとして作った曲がこの「フィンランディア」で、曲名もそのまま国の名前となっています。



最初は苦しみや悲しみを表すように暗い感じで曲が始まります。何か大きなものに押さえつけられるような重々しいテーマが続いた後、突然暗やみを切り裂くようにトランペットの音が鋭く「タタタタタッタ」と鳴り響きます。これは闘いを呼びかける合図で、苦しんでいたフィンランドの人々を奮い立たせるように何回も繰り返されます。そして、音楽は暗やみを抜け出るようにだんだんと明るくなっていき、今度は「勝利に向かうテーマ」が現れます。力強く相手に立ち向かい、突き進むかのように、このテーマと闘いを呼びかける「タタタタタッタ」が代わる代わるに繰り返されながら、音楽はだんだんと盛り上がっていき



ジャン・シベリウス (1865~1957)

ます。大きな波が引くように盛り上がりがあったん収まると、おだやかで美しいメロディーが流れます。平和を祈る心や、フィンランドの美しい自然が伝わってくるようです。ここはとても有名な部分で、後で歌詞がつけられて「フィンランド賛歌」という歌になり、フィンランド第二の国歌とも呼ばれるようになりました。卒業式の時の音楽としてもよく使われる部分です。フィンランド賛歌が終わると、再び闘いを呼びかける「タタタタタッタ」と「勝利に向かうテーマ」が現れ、最後のクライマックスには「フィンランド賛歌」も高らかに演奏されて力強く感動的に曲は終わります。では聴いてみましょう。

(約8分間「フィンランディア」を聴く)

この日に視聴した動画はこちらです。
シャルル・デュトワ指揮 NHK 交響楽団



「フィンランディア」ができて100年以上たちました。実はその頃、日露戦争といって日本もロシアと戦争をしました。その後80年ほど前の太平洋戦争の終わりかけには、ロシア（その頃はソ連）が北海道の近くの日本の領土の島を攻め込んで、今も占領されたままになってしまっています。日本もまた他の国を侵略して、占領したことがあります。そして今、皆さんも知っているようにウクライナがロシアと戦争をしています。このロシアもまた、過去にはフランスやドイツに攻め込まれました。何の罪もないたくさんの人々の命が奪われる戦争はあってはならないことです。今も、戦争で亡くなった人や苦しんでいる人、大切な人を失って悲しい思いをしている人が多くいることを忘れてはなりません。